

4 章

ダイオキシン類

1 節 概要

1. 環境基準等

(1) 環境基準・測定方法

媒体	基準値	測定方法
大気	0.6pg-TEQ/m ³ 以下	ポリウレタンフォームを装着した採取筒をろ紙後段に取り付けたエアサンプラーにより採取した試料を高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計により測定する方法
水質 (水底の底質を除く。)	1pg-TEQ/L以下	日本工業規格K0312に定める方法
水底の底質	150pg-TEQ/g以下	水底の底質中に含まれるダイオキシン類をソックスレー抽出し、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計により測定する方法
土壌	1,000pg-TEQ/g以下	土壌中に含まれるダイオキシン類をソックスレー抽出し、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計により測定する方法

備考

1. 基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾーパラージオキシンの毒性に換算した値とする。
2. 大気及び水質（水底の底質を除く。）の基準値は、年間平均値とする。
3. 土壌にあつては、環境基準が達成されている場合であっても、土壌中のダイオキシン類の量が250pg-TEQ/g以上の場合には、必要な調査を実施することとする。

2. ダイオキシン類調査地点図



- : 大気（一般環境調査地点）
- ◎ : 大気（発生源周辺調査地点）
- ▼ : 河川水・河川底質調査地点
- ▲ : 地下水調査地点
- ◆ : 土壌調査地点

2節 ダイオキシン類測定結果

1. 大気

測定結果

単位：pg-TEQ/m³

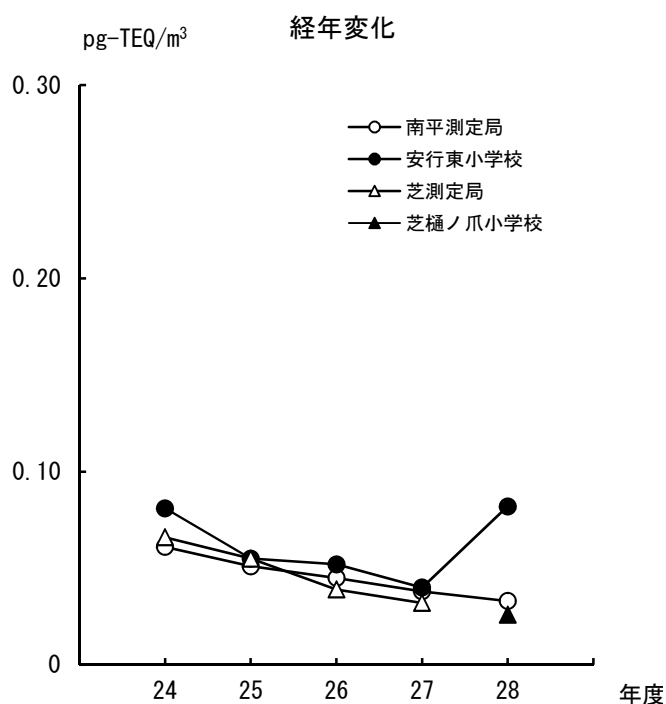
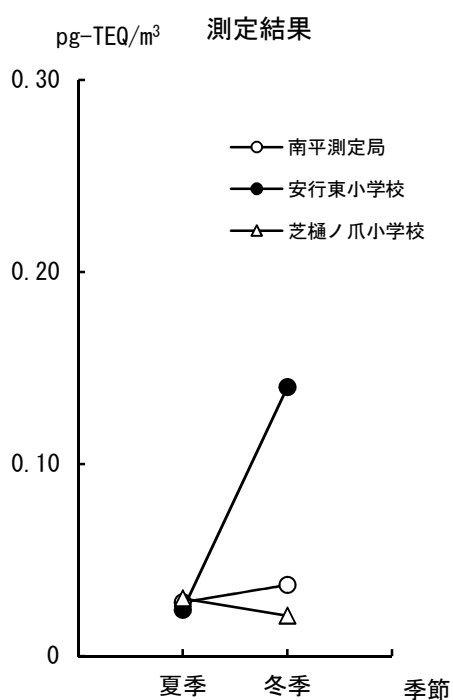
調査地点	平成28年度		平均	環境基準との比較	環境基準
	夏季	冬季			
	H28.7.13~7.20	H29.1.11~1.18			
南平測定局	0.028	0.037	0.033	○	0.6
安行東小学校	0.024	0.14	0.082	○	
芝樋ノ爪小学校	0.030	0.021	0.026	○	

経年変化

単位：pg-TEQ/m³

調査地点	調査区分	用途地域	年度				
			24	25	26	27	28
南平測定局	発生源周辺	準工業	0.061	0.051	0.045	0.038	0.033
安行東小学校	発生源周辺	一種低層	0.081	0.055	0.052	0.040	0.082
芝測定局	一般環境	二種住居	0.066	0.055	0.039	0.032	—
芝樋ノ爪小学校	一般環境	二種住居	—	—	—	—	0.026

※ 芝樋ノ爪小学校は平成28年度より芝測定局から移動した。



2. 河川水

測定結果

単位：pg-TEQ/L

調査地点	測定結果		平均	環境基準との比較	環境基準
	H28. 10. 18	H29. 1. 13			
山王橋	0.88	0.68	0.78	○	1

3. 河川底質

測定結果

単位：pg-TEQ/g

調査地点	測定結果	環境基準との比較	環境基準
	H28. 10. 18		
山王橋	3.1	○	150

4. 地下水

測定結果

単位：pg-TEQ/L

調査地点	測定結果	環境基準との比較	環境基準
	H28. 5. 26		
柳崎4丁目地内	0.062	○	1

5. 土壌

測定結果

単位：pg-TEQ/g

調査地点	測定結果	環境基準との比較	環境基準
	H28. 12. 16		
神根公園	23	○	1,000
金山町公園	3.7	○	
南町公園	1.3	○	

(注) 1. 環境基準との比較において、「○」は環境基準達成を表す。

2. 測定結果の算出方法については以下のとおり。

大気・河川・底質・地下水 … 定量下限値以上及び定量下限値未満・検出下限値以上の値はそのまま用い、検出下限値未満の値は検出下限値の1/2の値を用いた各異性体の毒性等量により、測定結果を算出した。

土壌 … 定量下限値未満の値は0とした各異性体の毒性等量により、測定結果を算出した。